

会 議 録

会 議 名	八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 子どもにやさしいまちづくり部会 平成28年度 第6回会議	
日 時	平成29年3月23日(木) 午後5時15分～午後7時30分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 801会議室	
出席者氏名	委 員	井上仁部会長、荒井容子委員、石田健太郎委員、岡崎理香委員、後藤高浩委員、立石晴美委員、田中伸幸委員(部会長以下五十音順)
	関連所管	なし
	事務局	渡邊児童青少年課長、平塚子どものしあわせ課長、田村課長補佐、井垣主査
欠席者氏名	中込順子副部会長	
議 題	【議事】 1 市政100周年記念事業「ビジョンフォーラム」について 【報告】 1 八王子市子ども家庭福祉のあり方に関する調査報告について 2 平成28年度子ども意見発表会担当所管へのヒアリング結果について 3 子どもにやさしいまちづくり条例(仮称)策定に係るアンケート調査の実施について	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	なし	
配付資料名	ビジョン・フォーラムにおける「子どもの意見」枠組み(資料1) 子ども家庭福祉のあり方に関する調査報告書の概要(案)(資料2) 平成28年度子ども意見発表会 子ども企画委員発表内容・担当課長との意見交換会での発言(検討)内容および、その後の取り組み状況のヒアリング結果(資料3) 子どもにやさしいまちづくり条例(仮称)策定に係るアンケート調査実施に向けたタイムスケジュール(H29年度イメージ)(資料4)	
会議の内容	別紙のとおり	
会議録署名人	平成29年11月14日 岡崎理香	

【井上部会長】第6回目の会議をはじめます。議事に入りたいと思います。

議事1 市政100周年記念事業「ビジョンフォーラム」について

【平塚子どものしあわせ課長】(資料1について説明)

【井上部会長】分科会の資料6「ビジョンフォーラムの概要」とあわせてご覧いただき、何かあればご意見をお願いします。

【田中委員】8つのフォーラムすべて所管課が違うが、各回それぞれの所管課がしきるのですか。

【平塚子どものしあわせ課長】はい。そうです。

【井上部会長】どういうふうに子どもの意見が使われたのか、参加形態がどうなのかを含めて検証しながら、将来八王子の市政に子ども参画をどう実現するのかということの試金石になるかと思しますので、各所管に意識してもらおうという意味では良いことだと思います。それを恒久化する仕組みを考えることが難しいと思います。イベントだけでなく、いろいろな計画の中に入れてもらうですとか、そういったことが次の課題になるかと思えます。もうそれぞれで募集を始めるなど動き出しているのでしょうか。

【平塚子どものしあわせ課長】ちょうど今から動き出すところです。学校に対しては新年度明けてからの調整になってくるかと思えます。子どもミライフォーラムについては子ども家庭部としての考え方で進めていきたいと思っておりますので、この部分についてはこれまでの児童館を中心とした取り組み方が軸になってくるかと思えますが、8つのテーマそれぞれのところでも中学生だけに偏った年齢構成というのも問題になってくるかと思うので、小学校高学年から高校生くらいまでの年齢のお子さんをどのように組み込むかという部分についても調整を図っていかなければならないと思っております。

【井上部会長】子ども自身が八王子の未来をどのように描くかといった試みに挑戦するには時間が必要です。そうすると夏休みが大きいかと思えます。4月、5月くらいに骨格をつくって投げかけないと、子どもさん自身が動けないと思えます。小学校、中学校、大学まで含めて動いてもらうとなると、ミライフォーラムに向けてのワークショップみたいなものをどのようにやっていくのかとか、委員のみなさんのご意見を聞きながら児童館などにご協力いただかないとならないと思えます。

【平塚子どものしあわせ課長】ミライフォーラムは、100周年のグランドフィナーレということもあるので、100周年を所管している記念事業課という部署と子どものしあわせ課とで二部構成で共同開催し、全体で3時間の開催となります。配分は2時間20分がフォーラム

の時間で、その中で基調講演も一定の時間を設けます。これまでの子どもの意見交換会では、2時間くらいの枠で10人前後の子どもたちと意見交換し、かなり盛り沢山のスケジュールでした。スケジュール的には時間も視野に入れた構成を考えていかなければならないと思います。

【井上部会長】テーマの絞り込みと意見発表の明確化をしなければなりませんね。

【平塚子どものしあわせ課長】例えば事前の学習会みたいなところで多くの人数に参加してもらい、最後は代表の意見を持ち寄るといようなことも一つの形態かと考えます。

【井上部会長】やり方はいろいろあると思います。ワークショップに参加した子どもも会場に来るでしょうから、達成感を感じられる仕組みをつくってあげないといけないでしょうね。

【平塚子どものしあわせ課長】子どもミライフォーラムを単独で、これまでやってきた子どもの意見交換会の一つのバージョンとしてやってしまうと、総括にもならないかと思えます。

【井上部会長】八王子の未来を考える子どもたちといったテーマを設定し、100周年から次の八王子といったような、子どもたちの最終提言のような形に持っていかないといけないのかなと思います。

【平塚子どものしあわせ課長】そうですね。もう一つ、テーマも重要となってくるかと思えます。8つのフォーラムで子どもの参加に取り組んでいますので、八王子市にとって子ども参加のプロセスというものが意義のあるものだということも、取りまとめていかなければいけないと思っています。

【井上部会長】子ども参加の仕組みをなぜ入れたのかも最後のまとめのところでは10分20分入れないといけませんよね。しかし、時間が足りるかどうか。

【平塚子どものしあわせ課長】8つのテーマでは、中学生年齢の子どもが中心となって参加しますが、例えば生徒会という枠もあるでしょうし、こういった属性の子どもたちが参加するのが好ましいかといったイメージも今日ご意見をいただきたいと思っています。

【井上部会長】いろいろな子が参加できると良いですね。児童館の子もいれば、学習塾に来ている子もいれば、小学生、中学生、高校生、大学生もいてならないと最後のまとめになりませんよね。小学校は児童会、中学校は生徒会、ほかに児童館などいくつかのセクションで取り組んでもらったものを持ち寄ってもらうといったかたちが今回は合うのではないのでしょうか。あとは、若者代表として、高校生代表、大学生代表などは公募でも良

いかと思います。

【後藤委員】教育委員会と小・中学校への働きかけというのはどのようになっているのですか。私が関わっている生徒に聞いても、100周年ということを知っている生徒はほとんどいません。選ばれた子たちだけのイベントになってしまっていて、全体が盛り上がっていません。

【平塚子どものしあわせ課長】学校教育部で100周年事業として事業化したものはありませんが、学校では、学校の授業や活動の中で100周年と関連した事業について投げかけをしているようです。

【井上部会長】例えば、子どものしあわせ課が全小・中学校に八王子の未来を描いてくださいと投げかけて絵画展を開くということは可能でしょうか。

【渡邊児童青少年課長】すでに1年前倒しで小・中学生の絵画展を開催しています。子ども会などの出し物も一緒に行い、6,000人くらいの来場がありました。

【井上部会長】それでも浸透しているわけではないということになると、子どもたちが100周年を意識する仕掛けも必要かと思います。100周年を子どもたちに意識してもらって、次の100年をどう考えてもらうのか提起していかないと、単なるイベントで終わってしまいます。そうなってしまうと子ども参画ではなくなってしまいます。

【平塚子どものしあわせ課長】逆に100周年だから参画したというのも違ってきてしまうと思います。

【井上部会長】我々審議会としては、100周年を基盤にして、恒久的な子ども参加の仕組みを作りたい。そのため、子どもミライフォーラムに向かって子どもたちが粛々と準備を進めた結果ですよというところを市民に見せないといけないと考えます。大人が用意してあげて、子どもが来て、何か言って、褒められて終わり、ということにならないようにしないといけないかと思います。

【平塚子どものしあわせ課長】そういった点を見せる場としては、二部のグランドフィナーレの時のほうがもしかすると良いかもしれません。

次回でもいいのですが、当日参加する子どもはどうしても限られてしまうため、その子たち以外にどれだけの子どもの参加が背景にあるか、どういう集団が考えられるか、ワークショップ、作文、アンケートなど子どもたちの参加の仕方、これらについて意見をいただきたいと思っております。

【田中委員】中学校のブロック単位であれば、地域性が出るのでいいのではないでしょう

か。

【立石委員】確かに地域によってだいぶ違った意見が出ると思います。

【井上部会長】他のフォーラムは、それぞれの部署が考えるのではないのですか。ここで考えることですか。

【平塚子どものしあわせ課長】こちらが提案していかないと、各所管がやりやすい方法に落ち着いてしまいます。コンセプトを伝えていかないといけないと思っています。

【岡崎委員】横断幕を購入して、フラッグツアーのように中学校38校にまわし、各校の生徒たちが未来をテーマにした内容のものを横断幕に書いていく。そして完成したものをミライフォーラムに飾ったらどうですか。フォーラムが終わったら、市役所の庁舎にしばらく飾るといいと思います。

【平塚子どものしあわせ課長】いいアイデアだと思います。8つのビジョンをフラッグでつなぐということも考えられます。

【田中委員】参加する意識は高まると思いますが、テーマが違いますから、内容がバラバラになりそうです。

【岡崎委員】学校に協力してもらえらるなら、総合の時間とか、郷土を教える時間もあるでしょうし。

【後藤委員】市教委からの指示で学校にやってもらうということが可能なのですか。

【平塚子どものしあわせ課長】調整次第だと思いますが、授業としてやるとなると、厳密な管理をしていますから、可能かどうかわかりません。

【岡崎委員】生徒会の活動とすることも考えられます。

【井上部会長】大きいフラッグを買う予算はあるのですか。

【平塚子どものしあわせ課長】それも調整次第かだと思います。

【井上部会長】38校分の横断幕だと相当大きくなりますね。

【平塚子どものしあわせ課長】8つのフォーラムでの子どもたちの提言をまとめ、その思いをフラッグに書いて、未来に向けた提言として残すという手もあります。

【井上部会長】各学校1分の映像を作れば、40分弱の映像ができあがります。

【平塚子どものしあわせ課長】手挙げ方式なら実現しやすいですが、全校というハードルを設けてしまうと、調整が難航すると思います。

【井上部会長】映像にする、会場に展示する、横断幕型、フラッグ型と、いろいろ考えられますが、各フォーラムに参加した子どもたちがどう意思表示をしたのかを残すというこ

とは大事ではないでしょうか。

フラッグ系は、フォーラム参加者よりも、市内の声を上げない子どもたちも簡単に参加できる、意識できるような企画がいいと思います。

【平塚子どものしあわせ課長】100周年の目玉行事で緑化フェアというものもあります。今、緑化フェアに各学校が参加する仕組みづくりを別途進めています。

【井上部会長】それはどういう仕組みでしょうか。それによって私達が提言する内容が変わってきます。各フォーラムの考え方も知りたいです。

【立石委員】全ての中学校が8つのテーマのどれかに必ず参加するという形をとれば、どの中学校の生徒も100周年について考えることになるのではないかと思います。

【渡邊児童青少年課長】100周年記念事業として作文コンテストを実施することが決まっています。全小中学校に校長会を通して協力依頼をしていますから、本来は子どもたちが知っていていいのですが。

【平塚子どものしあわせ課長】100周年についての子ども参画より、本来の子どもの参画の在り方についてご意見をうかがったほうがいいかと思います。

【井上部会長】今日の段階では情報が不足しています。他のフォーラムに関して情報をください。また、ミライフォーラムがイベント型で終わらないよう、一番気をつけなくてはなりません。

【平塚子どものしあわせ課長】ミライフォーラムでは、2時間20分くらいの枠で、基調講演45分くらい、後段のパネルディスカッションでは市長、教育長、民間の方にパネラーとして参加していただくかと考えています。

【井上部会長】そのあたりは、どういうテーマで子どもたちが提言するかによって変わってくるのではないのでしょうか。まだ大筋が見えていないです。

大人が3人いて話をすると、子どもの出番がなくなる危険があるような気がします。

次回、4月に部会を開催し、8つのフォーラムそれぞれの狙い、教育委員会含めて子どもたちへの啓発をどうしているのか、について情報提供していただきたいと思います。

報告1 八王子市子ども家庭福祉のあり方に関する調査報告について

【平塚子どものしあわせ課長】(「子ども家庭福祉のあり方に関する調査報告書の概要(案)(資料2)」について説明)

【井上部会長】児童相談所設置に関しましては、有資格者の確保が課題となるでしょう。

人材を養成する場としては、子ども家庭支援センターが考えられます。場合によっては、相談所の庁舎、一時保護所等の施設を確保するための財政出動は覚悟しなければなりません。他市を視察したところでは、相談業務を丁寧に対応していらっしゃいました。政令市では、区の支所と連携が取れていました。一時保護所は県に比べて配慮が行き届いていました。東京23区も検討を進めていますので、一斉に手を挙げて東京都对応できるかどうかわかりません。また、現在八王子児童相談所が管轄している日野市、町田市はどうするのかなど、難しい点もあります。施設の候補地があるわけでもありません。

何かご質問はございますか。

【石田委員】八王子市には、乳児院がありませんから、乳児院も整備するようなのですか。

【井上部会長】乳児院に措置するか、里親に委託するか、にもよるかと思います。里親に委託するという八王子方式が取れば、そのほうがいいかもしれません。

【田中委員】命にかかわることですから、人材育成の部分がクリアできないといけません。ただ、市で持てば行政上の連絡はスムーズになると思います。

【井上部会長】人材育成には10年かかるでしょうから、設置するなら早く取り掛かる必要があります。

報告2 平成28年度子ども意見発表会担当所管へのヒアリング結果について

(「平成28年度子ども意見発表会 子ども企画委員発表内容・担当課長との意見交換会での発言(検討)内容および、その後の取り組み状況のヒアリング結果(資料3)」について説明)

【井上部会長】子ども育成計画に子どもの意見を反映したという部分が抜けています。

【平塚子どものしあわせ課長】確かに抜けていました。失礼しました。

【井上部会長】次の資料4が大事です。説明をお願いします。

報告3 子どもにやさしいまちづくり条例(仮称)策定に係るアンケート調査の実施について

【平塚子どものしあわせ課長】(「子どもにやさしいまちづくり条例(仮称)策定に係るアンケート調査実施に向けたタイムスケジュール(H29年度イメージ)(資料4)」について説明)

【井上部会長】アンケート項目については、実際に子ども条例を策定した市の例を早めに

提示していただいて、考えてみたいと思います。

調査票回収が12月とは、遅すぎませんか。

【平塚子どものしあわせ課長】もう少し早くできそうです。

【井上部会長】ほかには、よろしいでしょうか。

それでは、長時間ありがとうございました。